



＼まちづくり講演会番外編(バスツアー)／

# 伊野やって未来こい！ ネット(出雲市伊野地区) の皆さんに会いにいこう！

2023 7.29(土) 8:15~15:30



## 当日スケジュール

- 8:15 役場駐車場集合・バスで移動
- 10:00~ よっ得!?伊野いち到着、見学
- 11:00~ 講演
- 12:00~ 昼食・交流会
- 13:00~ 若手まちづくりプレーヤー報告会
- 13:30~ 交流拠点空き家視察
- 14:00 伊野地区出発・バスで移動
- 15:30 役場到着予定

- ➔ 定員 30名 (先着順)
- ➔ 当日は8時15分までに役場職員  
駐車場へ集合してください。
- ➔ 参加費1人1,000円(昼食代)  
※当日集金します。

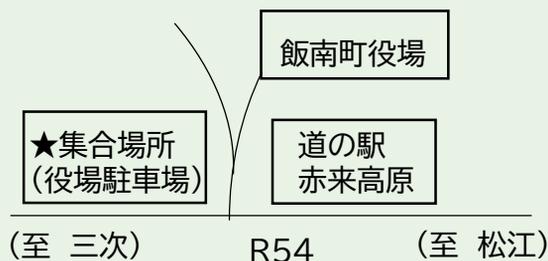
## 申し込みはここから



【URL】 [https://forms.gle/  
ncfwEkaBHAMDnbav8](https://forms.gle/ncfwEkaBHAMDnbav8)

※FAXの場合は  
裏面申請書から

7.20(木) 17:00締切



# 伊野地区とは

## 地区の紹介

【みんなでやって未来こい！、未来へつなぐまちづくり】

伊野地区は島根半島の中央部にあり、出雲市の最東端に位置しています。日本海に面した町、里山風景が広がる町、宍道湖沿いの町の3町からなり、市内で唯一日本海から宍道湖までつながっています。海あり、山あり、宍道湖ありと、食材豊かで漁業や農業が盛んな地域です。

高齢化とともに人口減少が進んでいる伊野地区では、自治協会を中心に子育て・教育支援、産業振興、関係人口づくりなどに取り組み、2020年「伊野の未来を創る戦略会議」で将来ビジョンを作成しました。翌年、ビジョンの実行部隊である「伊野やって未来こい！ネット」が発足し、精力的に活動しています。

## 活動のきっかけ

出雲市では2012年から学校再編が進み、小学校を残すか否か、住民たちは選択を迫られました。伊野地区では保護者を含む検討委員会を中心に2年半にわたる丁寧な話し合いを重ね、小学校の存続を決定。残すからには小規模校のデメリットを解消し、大きな魅力をつくらうと「学校×地域」の連携が始まり、その後のまちづくり活動のきっかけとなりました。

## 活動紹介

### 空き家からまちづくりの交流拠点に生まれ変わった「垂水邸」



子育て支援

地域産業の振興

その他

伊野地区の空き家活用の可能性を探るプロジェクトとして、空き家を改修した「垂水邸」が交流拠点に利用されています。改修の過程では地元の小学生が壁塗りに挑戦し、2021年から「田舎の小さな音楽会」と題したコンサートや、地区の女性たちによる梅シロップづくり、国際ワークキャンプの一環で留学生を招いての障子張り体験などが開催され、イベントを通じて地区内外の交流が生まれています。

### 小学生も参加する「伊野いち」は伊野地区まるごと産直市



子育て支援

地域産業の振興

伊野の農業者たちが、売り物ではない野菜を安価で提供しようと2014年から始まった年2回の産直市。農作物のほか、海の幸やパンなどの多彩な商品が並びます。2015年から伊野小学校5、6年生が総合的な学習の一環として、産直市の準備から販売まで一連の流れに関わり、子どもたちの元気な姿は「伊野いち」の名物となりました。毎回多くの人で賑わい、2020年には常設店舗「よっ得？！伊野いち」が国道沿いにオープンしました。

(引用「しまねの郷づくり応援サイト」より転用)

## 講師：多久和 祥司 さん（伊野やって未来こい！ネット事務局長）



島根県内で中学教員を定年まで勤めた後、生まれ育った出雲市伊野地区の自治協会会長に就く。

平成30年には協会の活動が評価され、あしたのまち・くらしづくり活動賞総務大臣賞を受賞する。10年後を見据えたまちづくりを推進するため、「やって未来こい！ENO暮らし2030」を策定。現在「伊野やって未来こい！ネット」事務局長。

FAXでの申し込み

(0854)76-3943

申込日

月 日

氏名	ふりがな	年代	
住所	〒 -		
連絡先			

※上記の情報は当事業以外の目的では使用しません。